質 疑 回 答 書

工事名称　岡山駅東口駅前広場バス乗降場ほか改築工事

契約番号　2026022840-10

Ｎｏ．１

番号	数量 総括表	図面 番号	質 疑 事 項	回　答
1			構造用合板について、合法木材組合連合会、製材業者登録（岡山県）を取得している業者により製材・加工された岡山県産FSC認証合板となっていますが、梁、垂木については、県産材の証明があれば認証等の必要は必要ないでしょうか。 それともFM認証等が必要でしょうか。	梁、垂木については、県産材の証明があればFM認証等は不要です。
2		S-09.10	S-09図では垂木の間隔が基本は@666.7となっていますが、S-10図の屋根合板割付図の右上にある合板割付仕様では≦910となっています。どちらを正とすればよろしいか。 　又@666.7とした場合の合板は1.0m×2.0mとなると思いますがどのように考えればよろしいか。	S-09図で示す垂木の間隔を正としてください。 また、合板は910mm×1820mmを加工して施工する想定です。
3			上記の質問で垂木が@666.7が正解とした場合は、合板が910×1820しかない場合は、486.mm余ることになって他では使用出来ないことになり、かなりのロスが出ることになりますが、数量総括表ではそのロスを見込んだ枚数となっているのでしょうか。	ロスを見込んだ枚数となっています。
4		A-26	A-26図等で構造用合板t24（県産材）芯材：杉、表面材：ひのき　表面無節となっていますが、既施工部分の軒天井では節あり（上小節程度）の材料が使われていますが、今回は無節とするという事でしょうか。	お見込みのとおりです。
5		Ga-21	Ga-21図 木ベンチについて、木材は国産杉材となっていますが、岡山県産材とはしなくても良いと解釈すればよろしいか。 　又ISO9001認証取得会社の管理・製造品とするとなっていますが、木ベンチの座面部分を製造する工場が取得していればいいと考えればよろしいか。	現場説明書P13及びA-01特記仕様書記載のとおり県産材の利用に努めてください。 また、ISO9001認証取得会社の管理・製造の件については、お見込みのとおりです。

質 疑 回 答 書

工事名称　岡山駅東口駅前広場バス乗降場ほか改築工事

契約番号　2026022840-10

番号	数量 総括表	図面 番号	質 疑 事 項	回　答
6			銅像移設作業において25tクレーンの通行及び使用が計画されておりますが、作業位置は地下躯体スラブ上に該当いたします。クレーン車両重量および作業時のアウトリガー集中荷重に対して、スラブの耐荷重上問題がないと考えて宜しいか。	問題ないと認識しています。
7			銅像移設作業において25tクレーンを通行及び使用する際、地下躯体スラブの保護養生（敷鉄板等）や補強作業が必要となる場合は、その具体的な仕様および取り扱い（設計変更の有無等）についてご指示願います。	地下躯体スラブの保護養生や補強作業については、数量を計上しておりませんが、契約後、現地の状況等により、必要であると判断される場合は、設計変更の協議の対象とします。
8			令和8年8月より生コンクリートの価格が改定（値上げ）されております。本工事の工事数量総括表における積算時期は「令和8年6月」となっております。この場合、入札においては積算時期（令和8年6月）時点の旧単価を適用して応札し、価格上昇分の差額につきましては、設計変更対象と考えて宜しいか。	岡山市工事請負契約約款に基づき、必要に応じて設計変更の協議の対象とします。
9			地業工事の最下層部のモルタル塗りで指定されています無収縮モルタル材「太平洋ﾌﾟﾚﾕｰﾛｯｸｽLW30」についてですが、メーカーより下記の見解が届いております。 ①無収縮モルタルは拘束環境下で無収縮性を有します。（露出面が大きい箇所の表面はひび割れしやすい） ②LW30の打設前に躯体に吸水調整（エフェクトA塗布）、または水湿しを実施しないと、流動性が阻害される可能性がある。 ③本材料は乾燥しやすいため、打設完了後は乾燥しないようシート養生などが肝要。 ④今回のような、野外の施工厚みが小さく断面積が大きい箇所への、無収縮モルタル打設は、ほぼ確実にひび割れが入るかと思います。 以上がメーカーからの見解 となりますが本当に太平洋ﾌﾟﾚﾕｰﾛｯｸｽLW30で宜しいか。 又、設計変更、下地処理や養生等追加項目が生じた際は別途精算ということで宜しいか。	太平洋ﾌﾟﾚﾕｰﾛｯｸｽLW30同等品でよいです。また、地下躯体スラブの状況によって下地処理等の追加項目が生じた際は設計変更の協議の対象とします。
10			仮設事務所を設置するための場所を借用できる場所はありますか。	工事場所周辺の岡山市管理地で、現時点でお貸しできると明言できる場所はありません。

質 疑 回 答 書

工事名称　岡山駅東口駅前広場バス乗降場ほか改築工事

契約番号　2026022840-10

番号	数量総括表	図面番号	質 疑 事 項	回　答
11			上記の質問で「あり」の場合、有償でしたら工期内における借用料、借用できる場所をご指示願います。	No10のとおりです。
12			工事数量総括表は参考資料の位置付けと記載されておりますが、入札準備期間内にすべての項目および数量について図面との精査・確認を行うことは困難です。契約締結後に「工事数量総括表」と設計図書との間に不一致（数量の相違等）が判明し、請負代金に影響が生じる場合、設計変更対象と考えて宜しいか。	工事数量総括表は設計図書の一部です。設計図書間で数量の相違等の不一致が判明し、請負代金に影響が生じる場合は、岡山市工事請負契約約款に基づき、必要に応じて設計変更の協議の対象とします。
13	P.268～271	Kt-06～08	解体工事 建築解体工事 バス乗降場上屋解体 STEP1～4について、STEP1～4に「ワイヤーソー（湿式）」が計上されていますが、バス乗降場上屋解体図からは、使用箇所を確認することができませんでした。 また、STEP1は79㎡、STEP2～4も数量が計上されていますが、「㎡」が何を表しているのか分からない状況です。つきましては、ワイヤーソー（湿式）の使用対象箇所および、ワイヤーソーを使用する必要がある施工条件等についてご教示ください。また、各数量の「㎡」が示す内容についても併せてご教示ください。なお、「バス停上屋解体」および「階段前通路上屋解体」にはワイヤーソーの項目が見当たりませんが、これらについてはワイヤーソーの使用はないという理解でよろしいでしょうか。	「㎡」は基礎面積（ワイヤーソーで切断する面積）を表しております。Kt-05記載のとおり、地下躯体との肌別れ不良を想定し、基礎面積の40%程度の数量を見込んでいるため、具体の施工場所は示していません。 また、「バス停上屋解体」および「階段前通路上屋解体」においても、地下の状況によっては必要に応じワイヤーソーの使用はあるものと考えており、その際は設計変更の協議の対象とします。
14	P.268～271	Kt-06～08	解体工事 建築解体工事 バス乗降場上屋解体 STEP1～4について、STEP1～4に「ウォールソー（湿式）」が計上されていますが、バス乗降場上屋解体図を確認しても、ウォールーソーを使用する箇所を特定することができませんでした。また、STEP1は2000×300 51か所、STEP2～4もそれぞれ数量が計上されていますが、ウォールソーによる切断か所を示した数量なのか判断できない状況です。つきましては、ウォールソー（湿式）の使用対象箇所および、騒音・振動対策等を目的としたものなのか、その使用条件についてご教示ください。なお、「バス停上屋解体」および「階段前通路上屋解体」にはウォールーソーの項目が見当たりませんが、これらについてはウォールーソーの使用はないという理解でよろしいでしょうか。	Kt-05においてウォールソーを使用する箇所を示しております。 なお、ウォールソーの施工目的は地下街への騒音・振動対策です。 また、「バス停上屋解体」および「階段前通路上屋解体」においても、地下の状況によっては必要に応じウォールソーの使用はあるものと考えており、その際は設計変更の協議の対象とします。
15		Ga-07.10	外構撤去図では、レンガブロックは「再利用」となっていますが、外構舗装平面図では歩道部分が全て仮舗装となっています。このため、撤去後のレンガブロックについて、保管の要否、保管する場合の場所・期間、および数量書への反映方法についてご教示ください。また、点字ブロックについても同様の扱いとなるのか、併せてご教示ください。	レンガブロック及び点字ブロックは現場内集積を想定しており、保管は想定しておりません。